

金属 平林

施設型資源回収「えこ便」

4店舗目オープン

【岡山】金属リサイクルの平林金属(本社 岡山、平林実社長)は18日、岡山市内に有人施設型の資源回収・集積システム「えこ便」の新店舗を開設した。

えこ便4つ目の拠点で、資源回収とともに正しいリサイクルについての情報発信機能を担う。金属や小型家電、古紙などを合わせ月間150トンの回収を目指す。

「大安寺局」は978平方メートルの土地に延べ床面積約700平方メートルの建屋(S造一部2階建て)を建設。1階で回収を受け付け、2階部分には事務所と見学会や研修を行うコミュニケーションスペースを設けた。来店者が自

ら端末を操作し計量を行うことのできる新しいタイプの端末を導入したことで、最大で10



えこ便大安寺局

組の同時受付を可能にし、回収の効率化を実現した。持ち込みにかかる時間を減らすことで利便性を高め、地域住民の利用拡大につなげたい考えだ。

えこ便事業は2015年にスタート、同年7月の1号店開設を皮切りに現在、岡山市内に3店舗、鳥取県米子市に1店舗を置く。16年には資源の違法回収問題を考える社会的な活動であることなどが評価され、日本デザイン振興会の「16年度グッドデザイン賞」に選ばれた。平林社長は「1号店オープンのときはどうなるか不安もあったが、少しずつ認知度も高まり、きょうは予想を上回る盛況だった」と話す。

新店舗開設の計画も進む。18年夏をめどに、岡山市内に新しい店舗をオープンするほか、将来的には倉敷市や津山市、県外では広島県福山市への出店も視野に入れる。